

二十歳という節目に

1月12日(月)、志木小学校で「令和7年度志木市はたちの記念式」を開催しました。

今年度のテーマは「未来へ出航だ！～^{ハタチ}二十歳集結～」。このテーマには、二十歳の仲間が集まり、それぞれの未来へ力強く船出する節目の日にしたという想いが込められています。

二十歳の皆さんは身の引き締まる想いで記念式に臨みました。



▲みんなでつくりあげた記念式



▲懐かしい映像を見てしみじみ



▲金のバルーンと新成人の皆さんが輝く



▲カパルとハプニング！？

まちのできごと

多胎児育児をする仲間が集合



撮影：赤羽創さん(市民フォトグラファー)

▲カパルといっしょにラブラブ同窓会

12月20日(土)、健康増進センターで「祝25周年！多胎児グループ ラブラブ同窓会」を開催しました。

多胎児育児の楽しさや大変さを分かち合う会「ラブラブ」が25周年を迎え、多胎児のあるある話や便利グッズ投票、写真コンテストなど盛りだくさんのイベントとなりました。

光が織りなす幻想的な空間



◀▲みんなでキャンドルを並べました

12月23日(火)、市役所グランドテラスで「シキリラ」アフターイベントを開催しました。

10月25日(土)に開催されたシキリラが、あいにくの空模様により縮小での実施となったことから、志木第二中学校、宗岡中学校、県立志木高等学校生徒が制作した4千個以上のアートキャンドルに明かりを灯し、幻想的な空間を演出しました。

地域を守る決意新たに



撮影：友部未来さん(市民フォトグラファー)

▲志木市の消防力を披露

1月11日(日)、市役所グランドテラスで「令和8年志木市消防出初式」を開催しました。

消防団や自警消防隊、志木消防署の隊員が一堂に会し、救出・救護活動、分列行進、一斉放水など実践さながらの訓練が行われました。

相手の気持ちに共感する



撮影：藤代眞義さん(市民フォトグラファー)

▲日常会話と傾聴の違いなどを学びます

1月17日(土)、総合福祉センターで「自分も相手も大切にするコミュニケーション～傾聴～」が開催されました。

講師である^{むらお}村尾リエさん((一社)聴色ーゆるしいろー傾聴協会代表理事)から「相手の気持ちを傾聴するには、自分の心の声が聴けないと人の心の声を聴くことはできないため、まずは自分自身を大切にする」というお話がありました。



市公式Facebookでも、イベントで撮影した写真を掲載しています！
<https://www.facebook.com/shikicity>



①AppStoreまたはGooglePlayにて「COCOAR2」をインストール
②アプリを起動後、「AR動画」マークがある写真にカメラをかざしてください。

個性が光る作品を並べて



撮影：細島龍輝さん(市民フォトグラファー)

▲カラフルなハートマークが映える

1月23日(金)と24日(土)の2日間、総合福祉センターで「第51回太陽展」を開催しました。

市内小・中学校特別支援学級の児童生徒とみつばすみれ学園の子どもたちによる色鮮やかな作品が並び、訪れた人たちの目を楽しませていました。

チョークアート「カパル花火」



▲色鮮やかに表現しました

志木駅東口駅前チョークアートギャラリーでは、宗岡第二中学校美術部が作成したチョークアート「カパル花火」を4月下旬まで展示中です。

黒板の黒を夜空に見立てて、花火が鮮やかに映えるよう工夫しながら、中央に大きく描いたカパルがドローンアートのように見える構図にこだわり、立体感を表現するために部員が力をあわせて制作しました。